

---

# 自分 = まずい

こをり

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

自分=まづい

【著者名】

【あらすじ】  
お姉ちゃんが死んだ  
まづいお姉ちゃんが、死んだ

(前書き)

カリバリズムな表現が苦手な人はバックプリーズ

お姉ちゃんが死んだ

大嫌いで早く死ねばいいのにっていつも思つてた

お母さんもお父さんも泣いてる

お姉ちゃんの彼氏も泣いてる

私は、泣いてない

棺の中は相変わらずむかつくな顔だけのお姉ちゃんが眠つてただけ  
ほんとに死んだの？って聞きたくなる

「ねえお姉ちゃん、私ねお姉ちゃんの事大嫌いなの  
お姉ちゃんも嫌いでしょ？私のことなんて。

今の気持ちを正直に言えばラッキーって感じかなあ  
ははつこんな妹でゴメンね？なあんて今更かあ

お母さんもお父さんも彼氏さんもあんたのために泣いてくれてるん  
だよ

最後までほんつと

むかつくな奴。

それだけは声に出せなかつた

だつて彼氏さんが私に横に座つたから

「なんで、何で死んじやつたんだよお

ほら、あんたの大事な大事な彼氏さんが泣いてるわよ？  
さうさとその大きな胸で抱きしめてあげなさいよ

姉の顔も、体も、性格も

ど  
れ  
も  
嫌  
い、  
だ  
い  
つ  
嫌  
い！

勉強も出来てスポーツ万能、オマケに誰もが憧れる生徒会長

「どれだけ私が惨めな思いをしたか知つてたでしょう？」

それを、あんたは、笑つたのよ！

誰もいない教室で集団リンチにあつてゐる私をドアの向こうから見て笑つたでしよう?

脇を勝かされレイハされてる中  
あんたは野次馬まで連れて私を笑  
いものにしたの！

ああ、ああああああああああああアアあああああああああああ

二十九

「泣いても、泣いてもいいんだよおー

ぐしゃぐしゃの顔で泣くあなたの彼氏

私の、初恋の人。

「好きだったのになあ」

「・・・え?」「べん聞えなか、つた」

なあんでこんな奴と付き合つたのよ

ああ、むかつくわあ

お姉ちゃんの顔はすつゝへ綺麗に棺の中から見える

そう、顔だけ。

「誰が、こんな、こんな酷い事をしたん、だ、らうね」

「・・・誰でしょうね?道端で複数の男にレイプされそのまま放置その後何者かによつてガソリンをまかれ炎上そして、胸、腕、臓器を喰われた・・・最悪ですね」

ああ、本当に最悪

な

味だったわ

「・・・いもう、とさん?」

「なんですか？」

「喰われたつて・・・警察の、人が言つた、の？」

「いいえ？でも事実です」

「焼け、て無くなつたんぢや・・・ないの？」

「そう警察に言われたんですか？ハハツ馬鹿みたい」

最悪な味、最悪な感触、最悪な匂い

私もこいつと同じ味、感触、匂いだなんて考えただけで吐き気がする

警察の人が私の横に来た

「・・・どうして我々がいるか分かつてゐるかな？」

「馬鹿じやないんで」

「署に来てもうおつ

「はあ～い」

彼氏さんは腰を抜かしたみたい

あ、「レだけは教えてあげなくつけやー

「よくあんなに不味いのと一緒にいられましたね？」

あ～、その顔最高だわ！

(後書き)

人喰いシリーズひとまず終わり！  
ああ～書いてる最中病んだ病んだ（笑）  
これからはハッピーなのが書きたいなあ

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9994n/>

---

自分=まずい

2010年10月9日10時37分発行